

学校要覧
2015

島根県立農林大学校

Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry



沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立
- 昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称
- 昭和 21 年 三瓶修練農場 //
- 昭和 23 年 三瓶農事指導所 //
- 昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 //
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止し、
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設
付属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 林業科飯南町（中山間地域研究センター内）へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設



教育の目的と基本方針

目的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び森林管理技術者の養成
基本方針	<ul style="list-style-type: none">● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。
教育の特徴	<ul style="list-style-type: none">● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、森林管理技術者になるための専門学習に特化● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門

高校卒業程度を対象にした2年間の学習課程

研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのためのさまざまな研修を実施

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科	有機農業	30人	大田市波根町	2年
	野菜			
	花き			
	果樹			
	肉用牛			
林業科		10人	飯石郡飯南町上来島	

有機農業専攻



全国に先駆け新設した本専攻は野菜、水稻について有機農業の理念、土づくり、病害虫防除法、雑草の防除などの基礎技術を学びます。また、県内外の先進的に取り組んでいる有機栽培農家（サテライト校）の協力を得て事例講義や体験実習を行うほか、有機JAS認証の制度学習や実務を通し有機農業の新たな担い手を育成します。

野菜専攻



本県の主要野菜であるメロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って栽培管理を行うことで、一貫した栽培技術と経営感覚を身につけます。また、新技術としての島根型養液栽培システムや、美味しまね認証を取得してトマトの栽培や販売を行うなど、新たな取り組みにも挑戦を続けています。

花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどの「島根の花」振興品目を基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、栽培から販売までの一貫した栽培技術と経営感覚を習得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育、トルコギキョウの島根県特許技術など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

果樹専攻



本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーン、サクランボ、スモモ等を栽培しています。ぶどうのシャインマスカットや梨のなつしずく等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指して、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

肉用牛専攻



優秀な肉用牛経営の担い手を育成するため、家畜飼養管理、家畜栄養飼料、家畜繁殖、牛胚移植概論及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身につけます。農場では繁殖・肥育一環経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身につけ、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

林業科



森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

在校生からのメッセージ

私が農林大学校の有機農業専攻を志望した理由は、高校で農業や環境について学び、植物を育てたりすることが好きであると感じたことがきっかけです。普段私たちが食べている食品には多くの食品添加物が入っています。またそれらが私たちの健康を害する危険性があること等を母から教えてもらいました。「医食同源」という言葉がある通り、食生活がいかに大切であるかを知りました。

命である食べ物に主眼を置く有機農業にとっても興味を持ちました。環境に優しく生物多様性を大切に、化学肥料や農薬、遺伝子組み換え技術を使わず、自然の力を利用し安心安全な作物を生産する農業が有機農業です。これからの日本の農業は有機農業がとても大切になってくると私は思います。

島根県の農林大学校は全国でも唯一有機農業を学べるコースがあり、技術だけでなく、有機農業の理念についても学ぶことができます。私はこの1年間、作物栽培を通して有機農業の大切さを改めて感じることができました。専攻では女子一人ですが、先生やクラスメートのみんなが仲良くしてくるので楽しい専攻です!! 学校生活や実習も充実しています。有機農業に興味がある人は農大に入学して2年間仲間とともにEnjoyしましょう~(^ ^)/

有機農業専攻2年 小村 渚



野菜専攻2年 大内 和也



私は、高校時代まで大阪で過ごしていました。祖父母の実家が島根県にあり、島根県の豊かな自然の中で農業をしたいと思い、この農大に進学しました。農大では野菜専攻に所属しており、栽培の技術・知識を身に付けるために毎日実習に取り組んでいます。

私は、主にメロンを栽培しています。1年次の抑制栽培では、播種から収穫・出荷までの一通りの経験をしました。今まで、農業のことを何も知らなかった私は、わからないことがたくさんあり、先生や先輩方に管理方法について、詳しく教えてもらいながら実習に取り組みました。

1年生の終わりの頃からは、それまでに身に付けた技術・知識を活かし卒論プロジェクトに取り組みます。卒論プロジェクトでは、自分が栽培したい作物や品種を選んで研究テーマを決めて取り組みます。

農大に入ってから、休日も自分が育てている作物の圃場に行き観察や作業を行うので、休みがなく大変ですが、愛情をこめて育てた作物を収穫する時はとても嬉しく、他の仕事では味わえないやりがいがあります。農業に興味のある方、やりがいのある仕事がしたい人は、ぜひ農林大学校に来て農業の素晴らしさを実感してほしいです。

花き専攻では、トルコギキョウをはじめとする切り花、シクラメンやアジサイをはじめとするさまざまな鉢物を栽培しています。

実習では、種まきから出荷までみんなで協力して作業しています。植物を観察し、追肥や病害虫防除などを行います。大変な作業もありますが、植物と一緒に毎日少しずつ成長することが出来ます。1年生の後半には、一人一人担当の品目が決まります。そして、生産プロジェクトや経営プロジェクトとして実践し、まとめを行います。大変ですが、将来社会に出た時に役立つような経営技術を身につけることが出来ます。また、プレゼンテーション能力も身につけることが出来ます。

私は、将来自営就農を考えているため、すごくプレッシャーをかかえています。高校でも勉強していましたが、技術や知識があまりありませんでした。農大に来て初めて気づいた事もありました。そんな私でも自分一人で育て、花を咲かせて出荷することができ、嬉しかったです。








花き専攻2年 園山真理子

2年間で多くの技術と知識を身につけることが出来ます。花が好きなのはぜひ花き専攻に来てください。先生や仲間と一緒に作業出来たら嬉しいです。花き専攻で待ってます!

イベントカレンダー

4月 入学式	5月 春季スポーツ大会 鳥取農大交歓会	6月 就農ガイダンス	7月 農大祭 就職セミナー	8月 夏季スポーツ大会 オープンキャンパス	9月 前期試験 先進農林業者体験学習(2年)	10月 県外(大阪)学習(2年) 中国地区農大生の集い	11月 秋季スポーツ大会	12月 日本農業技術検定	1月 卒論課題発表会 中国四国農業大学校プロジェクト発表会 冬季スポーツ大会	2月 就職セミナー 全国農業大学校プロジェクト発表会	3月 後期試験 卒業式
-----------	---------------------------	---------------	---------------------	-----------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-----------------	-----------------	---	----------------------------------	-------------------

高校時代に果樹を勉強していたこともあり、果樹についてもっと深く勉強したいと思い果樹専攻に進学することを決めました。

1年次には作物を育てる基礎や機械、経営など幅広く学習します。他の専攻に行っても実習ができる授業もあるので、自分の専攻ではない作物のことも知ることができます。

実習では2年生の先輩と一緒にぶどうの剪定、ジベレリン処理、花穂整形、調整など様々な実習をしました。

果樹専攻ではぶどうだけでも多くの品種がありますが、その他にも梨、桃、柿、いちじくなど様々な果樹を栽培しており、新しい技術を取り入れながら幅広い知識や技術が身につきます。失敗することもあります。先輩・先生方に助けてもらいながら日々楽しく作業を行っています。

農業初心者の方でも、優しい先輩・先生方に丁寧にわかりやすく教えてもらえるので農業に興味のある方、その中でもとくに果樹に興味のある方は是非果樹専攻に来てください！



果樹専攻2年
渡部 夏輝

私は現在、肉用牛専攻に所属し、44頭の肉用牛を飼育しています。私は非農家出身であり、今まで家畜に触れたことや、見たことはありませんでした。しかし、農林大学校に来て、1年で牛の扱いに慣れただけでなく、牛のつなぎ方や発育に応じた飼料給与方法、さらには分娩前後の管理などを幅広く学びました。

他にも、学校から6.5km離れた実践牧場で飼料作物であるサイレージも作りました。サイレージ調整にはトラクターなどの機械を使用するので、免許取得時の参考にもなりました。農林大学校では、専攻に関係なく大型特殊免許やけん引免許、フォークリフト免許などが取得できます。また、肉用牛専攻ならではの牛の削蹄師や人工授精師免許も取得できます。

資格取得にあたっては、事前に先生方の指導を受けるので安心して臨むことが出来ます。なお、先生の指導のもとで人工授精を行うこともできます。

農業には、女性や男性は関係ありません。そして、農家出身とか非農家出身であるとかも関係ありません。必要なことは自分自身が牛が好きなのかどうかです。畜産の世界

は厳しいと思いますが、自分で育てて、最終的には自分で出荷する。寂しい気持ちもありますが、やりがいのある仕事だと思っています。肉用牛に興味のある人はぜひ一緒に学べれば嬉しく思います。よろしくお願ひします。



肉用牛専攻2年
野原 彩香

私たちが在籍している林業科は、飯南町にある中山間地域研究センターの施設内にあり、そこで講義、実習を受け、就職後に即戦力となるように知識、技術を日々学んでいます。

講義では、森林の機能や管理、きのこの栽培、木材の利用等を学んでいます。堅苦しい講義は1つありませんよ？実習では、樹木の伐倒や、林業架線、高性能林業機械の操作等があり、資格や免許も数多く取得できます。林業の実習では、危険な作業や辛い作業もありますが、その度に仲間と共に乗り越え、心身共に成長しています。自然の中での作業は、とても人間らしいと思いませんか？

林業科の魅力は、チームワークがとても大切で、また人数が少ない分、優しい、優しい先生方や仲間たちと深く繋がっていくことができます。毎日が本当に楽しく、笑顔で過ごしているのとても充実しています。

最近では映画「WOOD JOB」や「林業女子」という言葉などで少しずつ林業に注目が集まるようにはなってきましたが、「それでも課題が多くある」というのが現状です。自然が好きの方や、体を動かすのが好きな方、進学に困っている方、これを読んで少しでも興味を持ってくれた方など、理由はいつでも良いので是非お越しください。そして一緒に林業を盛り上げていきましょう。



林業科2年
石原 惇也

農大の一日

8:40~

8:50~10:20

10:30~12:00

12:00
~13:00

13:20~14:50

15:10~16:40

~17:00

HR

午前は講義中心

1限(90分)

2限(90分)

昼休み

課業準備

午後は実習中心

3限(90分)

4限(90分)

課業整理



教育科目

農 業 科	共通科目	農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習 ほか	
	専 攻 科 目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機野菜・有機稲作）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習
		野菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		花き	園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		果樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草地飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地農業者等体験学習		
林業科		林業概論、森林マネージメント、森林計画、樹木、森林測樹、基本測量、応用測量、林業経理、林業機械、森林作業システム、野外活動、森林機能、森林路網、育苗技術、育林技術、森林保護、木材利用、木材流通・販売、森林資源活用、森林土壌、木造建築、情報処理、専攻実習、先進地農林業者等体験学習	

先進農林業者等体験学習

2年生時に、先進的農林業地域や農林家で行う体験学習です。

目的	農林業経営及び農林業での生活を体験し、農林業に関する知識や技術を習得するとともに、農林業の担い手としての意欲の醸成を図る
受入農林業者等	農林業後継者の教育に理解と熱意のある、優れた農林業経営を行っている農林業者、又は農業生産法人、林業事業体等
期間	農業科はおよそ1か月、林業科はおおむね3週間

資格・免許

在学中、次の免許又は資格等が取れるように指導・便宜を図ります。

●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者
- ◇ボイラー取扱技能者 ◇狩猟免許（わな猟免許）
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用）
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農業用品目）
- ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者
- ◇日本農業技術検定 ◇フラワー装飾技能士（2級・3級）

●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師

●林業科

- ◇林業種苗生産事業者 ◇林業架線作業主任者
- ◇機械集材装置運転者 ◇玉掛け技能者
- ◇チェーンソー作業従事者特別教育
- ◇刈払機取扱作業安全衛生教育
- ◇森林情報士（2級） ◇救急法救急員
- ◇車両系林業機械運転業務従事者特別教育

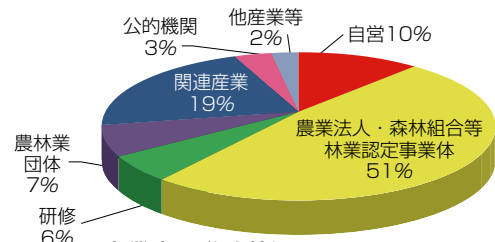
学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。（平成27年は7月24日、29日、8月2日）

進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。



主な進路（H25、26年度実績）

- 自営就農：野菜、果樹
- 農業法人等：宝箱、三和農産、スプラウト島根、つがが農園、神田農産、勝部農産、奥出雲農園、JA いずもアグリ開発、まるなつ農場、浜村園芸、だんだん牧場、中山農場、旭養鶏、山下牧場、石岡牧場
- 農業団体：島根県農業協同組合、JAアグリ島根
- 森林組合等：森林組合（松江、出雲地区、仁多郡、飯石、邑智郡、高津川、西川広域、山口東部）、酒井材木店、須佐チップ工業、林業公社
- 関連産業：ヤンマー農機、清和肥料工業、福花園、平田生花店、井ゲタ醤油、邑南町観光協会、ぐりーんはーと、ジュンテンドー、三次花壇、パパ・ピエール
- 公的機関：中山間地域研究センター、島根大学

研修部門

農林大学校では、これから農業を始めようとする方などを対象に、各種の研修を行っています。
各詳細については別途お問い合わせください。

これから農業を始めようとする方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
島根県農業担い手育成研修	新たに就農しようとする方を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち希望する分野で講義及び実習を通じて基礎的な栽培・飼育技術を身につけることができます。	新たに就農する方 定員 4名	4月～翌3月
有機農業実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習と講義を通して、有機栽培の基礎知識・栽培技術等を習得します。	有機栽培実践者 有機栽培予定者 定員 10名	5月～12月 (週1回、全30回)
野菜実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習を通して、野菜経営の基礎知識・栽培技術等の習得を行います。	島根県へのUターン者等 (予定者を含む) 定員 5名	5月～8月 (週1回、全16回)

林業技術を高めたい方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
林業エンジニア研修	林業の生産性向上を図るため、路網と高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの導入・運用に必要な専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材を育成します。	認定事業体の職員等	路網・機械・架線・作業システムコースを設定 6月～1月の間に各2～10日間実施

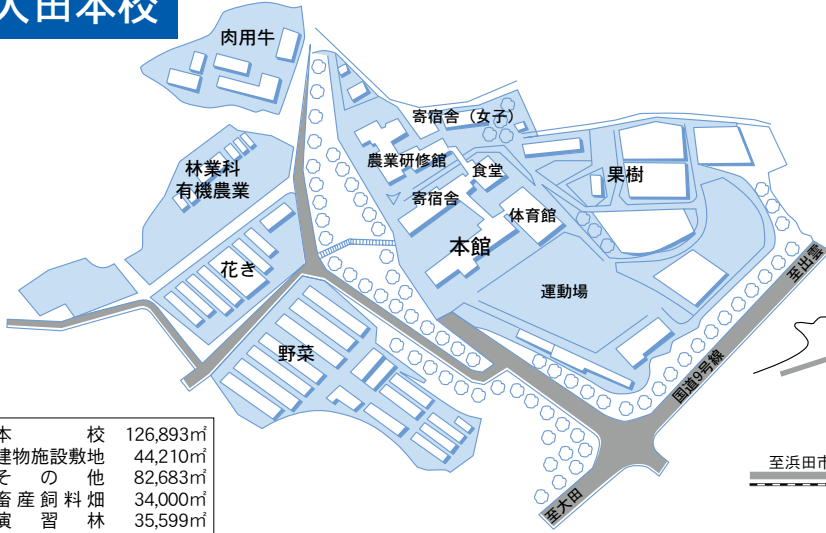
その他の研修

研修名	内容	対象者	開催時期
しまねの農林業体験教員研修	県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通じて農林業に対する理解促進や、農林業体験学習への取り組みを支援します。島根県教育委員会との共催研修です。	県内小中高校教員 定員 30名	8月下旬 (2日間)



農林大学校 施設・設備 配置図

大田本校



案内図

- ・波根駅から徒歩約15分
- ・大田市駅から約6km



本 校	126,893㎡
建物施設敷地	44,210㎡
その他	82,683㎡
畜産飼料畑	34,000㎡
演習林	35,599㎡



清友寮(せいゆうりょう)

農林大学校敷地内にある男子寮です。部屋は一人一室です。



友波寮(ゆうなみりょう)

農林大学校敷地内にある女子寮です。部屋は一人一室です。



飯南寮(いいなんりょう)

飯南校から約3kmの地点にある学生寮(男女)です。部屋は一人一室です。

※清友寮・友波寮は有線・無線LAN、飯南寮は有線LANによるインターネット接続が可能です。

林業科(飯南校)



※飯南校は島根県中山間地域研究センター施設の一部を使用しています。

島根県立農林大学校

ホームページやfacebookで学校の様子を随時掲載しています。
【新着情報】をチェックしてみてください。



(大田本校)

〒699-2211 島根県大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011 FAX 0854-85-7113

(林業科)

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2100 FAX 0854-76-2103

E-mail nodai@pref.shimane.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>
facebook <https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko/>